

〔感染症発生動向調査企画委員会情報〕

5月報

インフルエンザ定点（小児科定点を含む）

インフルエンザ 5月の報告数は0件（前月比-、前年同月比-）でした。4月まで患者発生がありましたが、5月はありませんでした。

小児科定点

（全体傾向）

5月の報告数は1,707件（前月比1.15、前年同月比1.22）で、前月に比べ増加していました。増加が目立った感染症はヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、咽頭結膜熱で、減少した感染症はRSウイルス感染症でした。詳細は疾患別傾向をご覧ください。

（疾患別傾向）

1. RSウイルス感染症 : 報告数は5件（前月比0.6、前年同月比0.0）でした。年明け以降減少が続いています。
2. 咽頭結膜熱 : 報告数は36件（前月比2.1、前年同月比0.6）でした。前月比では増加しましたが、昨年比では低水準です。年齢別では1歳が最多で全体の約半数（19/36）を占めました。水俣（3.00）からの報告が多くなっています。
3. A群溶連菌咽頭炎 : 報告数は20件（前月比0.9、前年同月比0.3）でした。発生数は低水準が続いています。年齢別では8歳が最多でした。
4. 感染性胃腸炎 : 報告数は1,282件（前月比1.1、前年同月比2.9）でした。3月以降患者数が増加傾向で、直近2年と比較しても高水準です。1歳をピークに全ての年齢層で患者が発生しています。菊池（84.60）から多く報告がありました。
5. 水痘 : 報告数は18件（前月比1.3、前年同月比0.7）でした。昨年よりも低水準で推移しています。
6. 手足口病 : 報告数は22件（前月比1.7、前年同月比0.2）でした。前月から増加しており、今後夏季に向けてさらなる増加が予想されます。年齢別では1歳未満及び1歳が最多でした。
7. 伝染性紅斑 : 報告数は4件（前月比1.3、前年同月比0.3）でした。患者数は低水準が続いています。
8. 突発性発疹 : 報告数は150件（前月比1.4、前年同月比1.1）でした。年明け以降漸増傾向にあります。年齢別では1歳に発症のピークがありました。菊池（7.80）から多く報告がありました。
9. ヘルパンギーナ : 報告数は7件（前月比3.5、前年同月比0.3）で、前月よりわずかに増加しました。ヘルパンギーナも夏季に向けて増加が予想されます。
10. 流行性耳下腺炎 : 報告数は10件（前月比2.5、前年同月比1.4）でした。年明け以降漸増傾向にあります。年齢別では5歳に発症のピークがありました。

眼科定点

1. 急性出血性結膜炎： 報告はありません。
2. 流行性角結膜炎： 報告数 15 件（前月 11 件）と増加しています。熊本 14 件、有明 1 件の報告です。年齢別では 50～69 歳に 6 件とピークがあります。残りの 9 件はそれぞれの年齢層に 1 件ずつの報告です。

STD 定点

※平成 25 年 1 月から、定点医療機関数の見直しに伴い、定点医療機関が 13 医療機関から 16 医療機関に増えました。

1. 性器クラミジア感染症：
報告数 62 件（前月比 1.0、前年同月比 1.0）で、前月比/前年同月比は増減無しでした。男女別では男性が 33 件で、女性は 29 件でした。年齢別では男性が 15～54 歳に、女性は 15～49 歳にみられています。地区別は熊本が 47 件、有明が 7 件、御船が 4 件、宇城が 3 件、八代が 1 件でした。
2. 性器ヘルペスウイルス感染症：
報告数 18 件（前月比 1.2、前年同月比 0.9）で、前月比で軽度増加、前年同月比で微減しています。男女別では男性が 10 件、女性が 8 件でした。年齢別では男性が 20～49 歳に、女性は 20～54 歳にみられています。地区別は熊本が 9 件、八代が 4 件、御船と菊池が共に 2 件と有明が 1 件でした。
3. 尖圭コンジローマ：
報告数は 8 件（前月比 1.0、前年同月比 2.0）で前月比は変わらず、前年同月比は倍増しています。男女別では男性のみで 8 件でした。年齢別では 20 歳～54 歳にみられています。地区別では熊本が 7 件、宇城が 1 件でした。
4. 淋菌感染症：
報告数は 22 件（前月比 0.8、前年同月比 2.0）で、前月比は軽度減少、前年同月比で倍増しています。男女別では男性が 19 件、女性は 3 件でした。年齢別では男性が 15～54 歳に、女性は 20～34 歳にみられています。地区別は熊本が 12 件で、宇城が 6 件、有明が 2 件、御船と八代が共に 1 件でした。

基幹定点

（月報分）

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：
報告数は 24 件（前月比：1.0、前年同月比：2.0、男女比：12/12）と増加傾向でした。熊本・山鹿（各 8）、水俣・有明・天草（各 2）、阿蘇・人吉（各 1）でした。年齢分布としては 70 歳以上（16）、0 歳・65～69 歳（各 2）、その他散発性に確認され高齢者に多く認められました。
▼例年よりやや多めの報告数でした。
2. ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：
報告数は 1 件（前月比：0.5、前年同月比：0.5、男女比：1/-）と減少傾向でした。阿蘇（1）でした。年齢分布としては 70 歳以上（1）でした。
▼例年よりやや少なめの報告数でした。
3. 薬剤耐性緑膿菌感染症：
報告数は 1 件（前月比：-、前年同月比：1.0、男女比：-/1）でした。山鹿（1）で、年齢分布としては 70 歳以上（1）でした。
▼例年並みの報告数でした。

(週報分)

1. 細菌性髄膜炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数となっています。
2. 無菌性髄膜炎： 報告数は2件（前月比：0.7、前年同月比：2.0）で減少傾向でした。熊本(2)で、年齢分布としては0歳・20-24歳(各1)でした。
▼例年並みの報告数です。
3. マイコプラズマ肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。
4. クラミジア肺炎： 報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼昨年度に引き続き報告がありません。
5. 感染性胃腸炎（ロタウイルスによる）：
報告数は0件（前月比：-、前年同月比：-）で報告はありませんでした。
▼例年並みの報告数です。

届け出対象感染症

1類感染症	： 報告はありませんでした。	
2類感染症	： 結核	19件
3類感染症	： 腸管出血性大腸菌感染症	3件
4類感染症	： レジオネラ症	7件
	重症熱性血小板減少症候群	2件
	日本紅斑熱	3件
	A型肝炎	1件
	E型肝炎	1件
5類感染症	： アメーバ赤痢	1件
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1件
	急性脳炎	1件
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
	後天性免疫不全症候群	1件
	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
	水痘（入院例）	2件
	梅毒	15件
新型インフルエンザ等感染症	： 新型コロナウイルス感染症	14,900件